

## 1 施設名

江津市民交流施設 江津ひと・まちプラザ『パレットごうつ』の市民交流広場屋根

## 2 施設場所

江津市江津町1518番地1

## 3 事業主体

江津市

## 4 施設の概要(建築に至った背景、施設の目的など)

江津市の玄関口であるJR江津駅前に新たに誕生した複合施設は、建築に際して、当市にふさわしい地域のシンボリックな建物とするため、地場産品である石州赤瓦や珧器質タイルをふんだんに使用している。

また、交流広場に架かる集成材梁の大屋根には、島根県産材を100%使用し、木の温もりで包み込まれる空間となっており、天候に左右されず年間を通じて各種イベント等に利用できることから、江津の街全体に賑わいを生み出す大きなきっかけとなるよう期待されている。

## 5 施設規模

市民交流施設

建築面積 4,411.30㎡ 階数 2階建

屋根部分建築面積 992㎡

屋根部分木材使用量 91㎡(県産材100%)

## 6 事業費

市民交流施設

総工費 1,442,160千円

屋根部分 144,504千円

## 7 写真



(外観)



(内部)



(夜のパレット)



(夕暮れのパレット)

## 8 施設の特徴(アピール点)

各種イベントに利用できる交流広場の屋根はトップライトになっており、明るく、開放的であり、昼間は賑わいを創出し、夜には中からあふれ出す光が、また違った表情となって、駅前新たな景観を生み出している。

## 9 木材利用において工夫・考慮した点

大屋根のスパンに対応できるように、梁は集成材とすることで、全ての木材を地域産の木材で賄うことができた。

また、屋根構造を現しにすることで、明るさや開放感を創出し、同時に木材の迫力ある構造を見ることができる。